

令和4年度

社会福祉法人聖ヨゼフ会 事業報告書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

社会福祉法人聖ヨゼフ会

聖ヨゼフ医療福祉センター

医療型障害児入所施設	「聖ヨゼフ整肢園」
福祉型児童発達支援センター	「ひばり学園」
障害児相談支援事業	「ひばり学園」
医療型障害児入所施設	「麦の穂学園」
障害福祉サービス（療養介護）	「麦の穂学園」
障害福祉サービス生活介護事業(通園)	「くぬぎ」
特定相談支援事業	「かえで」
障害福祉サービス事業（短期入所）	
在宅心身障害児（者）療育支援事業	

令和4年度 社会福祉法人聖ヨゼフ会事業報告
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1. 理事会・定時評議員会の開催と議事

1) 理事会 開催2回 期日 令和4年5月24日・5年3月28日

主な議事内容

- (1) 令和3年度 事業報告及び決算報告
- (2) 社会福祉充実計画の変更
- (3) 令和4年度補正予算、令和5年度事業計画、予算承認
- (4) 経理規程の一部改正
- (5) 理事長の職務執行状況の報告

2) 定時評議員会 開催1回 期日 令和4年6月13日

主な議事内容

- (1) 令和3年度 事業報告の承認
- (2) 令和3年度 決算書類報告と監査報告の承認
- (3) 社会福祉充実計画変更の承認
- (4) 理事長の職務執行状況の報告

2. 障害福祉制度（児童福祉法・障害者総合支援法）に基づく法人運営事業

1) 児童福祉法

- (1) 医療型障害児入所施設：「聖ヨゼフ整肢園」・「麦の穂学園」
- (2) 福祉型児童発達支援センター：「ひばり学園」
- (3) 障害児相談支援事業：「ひばり学園」

2) 障害者総合支援法（自立支援）

- (1) 障害者福祉サービス療養介護事業所 : 麦の穂学園
- (2) 障害者福祉サービス事業（給付・短期入所・日中一時支援事業所）
聖ヨゼフ整肢園・麦の穂学園
- (3) 障害者福祉サービス生活介護事業所 櫟（くぬぎ）
- (4) 特定相談支援事業 楓（かえで）

3) 京都市受託事業

- (1) 在宅心身障害児（者）療育支援事業

以上児童福祉法・障害者総合支援法の法令に適応した事業運営を法令の順守と利用者に安定した質の高い医療福祉サービスが提供できるよう運営し、専門職員の確保等に努力した。

3. 行政監査等指導について

1) 京都市保健福祉局福祉部監査指導課より

児童福祉施設等に対する指導監査及び実地（書面）指導

期 日：令和4年10月4日

監査実施対象事業所

- * 聖ヨゼフ整肢園（医療型障害児入所施設）
- * 麦の穂学園（医療型障害児入所施設）
- * ひばり学園（児童発達支援）

監査指導結果（口頭指摘事項）

- * ひばり学園 相談援助の内容や、状況等の記録が不十分
- * 麦の穂 事業所で使用しているパソコンの機密保持
- * 3事業所とも ソフトウェアについて、備忘価額を残さず減価償却処理を行う

監査指導結果（文書による指摘事項）

- * ひばり学園 配置看護職員数の1月間延べ人数が必要看護職員合計数未満となった月について、基本報酬が適切に算定されていなかった事例に関して、誤って請求した給付費を市町村等に返還すること

4. 新型コロナウイルス感染症

8月、9月、12月、1月にクラスターが発生したが、糸井院長、谷口療育看護部長をはじめ、多くのスタッフの適切な対応により、拡大することなく収束した

5. 法人運営に関する情報（財務諸表開示）ホームページに公開実施

6. 研修会等は新型コロナウイルスの感染防止のためオンライン（ZOOM）開催

7. その他：個人加入労働組合員状況（現在1名在職）

考察と今後の課題

- * 施設の老朽化に伴い、各方面での改修が必要になってきており、財政を圧迫しています。今年度は社会福祉充実残額を用いて、ボイラーの改修を行いました。
- * 新型コロナに関しては、社会全般はコロナ以前の日常に移行していくようですが、当センターとしては、感染防止の観点からも、当分の間は、職員の手指消毒と対面でのマスク使用は続けていきます。
- * 「社会福祉充実残額」については、今年度も引き続き収入減となったことにより残額も減じています。当初、令和7、8年度に予定していた7号棟の改修を令和4、5年度に繰り上げることにしました。
- * 7号棟に関しては経営面における厳しい状態を勘案して改修の方向で進めてまいります。建物自体50数年を経過しているので、かなり大規模の改修が必要となります。
- * 「危機管理」として現在の諸委員会（医療安全管理、感染予防、虐待防止、衛生管理、苦情解決、栄養管理、褥瘡対策、防災、緊急時連絡網等）の横の連絡に加えて、コロナ対策会議により、全職員への周知徹底を図っています。
- * 医療・福祉施設の適切な基準を満たす職員（看護基準確保の看護、介護）雇用について常時努力を必要としており、人材派遣会社等に紹介依頼をせざるを得ないため、費用が高んでいます。

す。

- * 電子カルテのシステムへの移行に向けて、ネットワーク設備を進めており、サーバーも設置しました。
- * ひばり学園については、令和6年3月に閉園の予定で、在園児保護者会での説明会、卒園児保護者会での説明会を行ってきましたが、厚生労働省から児童発達支援センター関連の制度の大幅な改革が令和6年度に実施されることが発出されました。事業体制の変更を含め利用者に不利益とならないよう慎重な検討が求められることから、閉園を1年延期することと致しました。
- * 在宅支援の短期入所は、職員各位の努力で成果を上げてきています。
- * 訪問看護事業について、令和6年度開始に向けて検討を進めております。
- * 公益的な活動事業として「京都地域創生事業」への参画や地域社会への貢献についての考察が今後、必要かと考えられます。
- * 昨今のいろいろな病院や施設の運営を見ておきますと、単独での経営はかなり難しくなっていくように思われます。当センターにおいてもここ数年の経営状態の悪化を考えるに、他の施設との合併とまではまだ考えないとしても、他の病院や施設との連携を考えていく時期に来ていると思われます。
- * 法人運営、施設の質の向上、地域貢献等、課題は多々ありますが、年間無事に運営出来たことは、神様の恵みと理事、監事、評議員、全職員のご努力、地域住民の皆様の支えと賜物に心から感謝しています。

令4和年度事業報告書

1. 施設整備・機器整備等で支払額が100万円を超過する案件。

1) 4号棟ボイラー改修工事の件

設置より13年を経過、温水タンクの湯温が上がらない事象が頻発しており、改修が必要となる。今回は、給湯機を数台連結し、交互運転することにより、各機の負担を減らし、安定した給湯を行うタイプです。

支払金額：¥11,500,000. (税込)

支払先：野間ガスサービス株式会社

*3社による入札

2) 医療事務システム新及びオンライン資格確認義務化に伴うシステム導入

令和5年3月末までに導入義務となったオンライン資格確認に伴うシステム導入、また、同時期に医療事務システムの更新時期であるため、機器4台、ソフトウェア、導入サポート他一式

*なお、オンライン資格確認義務化に伴うシステム導入につきましては、補助金(¥1,100,000.)を申請中。

支払金額：¥8,085,000. (税込) (有形リース)

支払先：キャノンITSメディカル株式会社

支払時期：R5/2

*2社合見積

3) 火災保険補償対象

令和4年夏から秋にかけて発生しました大雨による雨漏り等の対応補修の際に保険請求しました火災保険の継続。

支払金額：¥1,444,040. (税込)

支払先：損害保険ジャパン

*継続

2. 職員研修、防災訓練、諸会議等

1) 職員研修

*新規採用者オリエンテーション：令和5年4月3日実施 参加者9名

*医療安全研修会

令和4年度第1回医療安全管理委員会職員研修会

令和3年度インシデント・アクシデント報告

を資料回覧方式で実施(令和4年8月)

全職員数178人 回覧者数178人 回覧率100.0%

令和4年度第2回医療安全管理委員会職員研修会

(医療安全、感染予防、虐待防止)

全職員数 176人 回覧者数 175人 回覧率 99.4%

令和4年度第3回医療安全管理委員会職員研修会

(医療ガス、感染症予防、個人情報)

全職員数 171人 回覧者数 167人 回覧率 97.7%

2) 防火・避難訓練

*障害児入所・障害児通園事業所で毎月1回の消火、避難訓練の実施

3) 諸会議他

*毎年実施されている日本重症心身障害福祉協会の全国施設協議会及び

西日本施設協議会等は感染防止の為、ハイブリッド形式にて実施、それぞれ5名、4名が参加。

4) その他

*実習生受入：理学療法士1名、作業療法士5名、

ひばり学園（施設実習）2名、受入実施

*施設見学：櫟において12名受入実施

3. 事業別利用実績等

入所施設利用者数の推移（聖ヨゼフ整肢園・麦の穂学園）

(単位：人)

年度別	聖ヨゼフ整肢園 (肢体児童+一般)	麦の穂学園 (重心児童+療介)	合計延べ人数	1日平均 入所者数
R2年度	973	33,499	34,472	94.4
1日平均入所者	2.7	91.8		
R3年度	928	33,069	33,997	93.1
1日平均入所者	2.5	90.6		
R4年度	571	32,579	33,150	90.8
1日平均入所者	1.6	89.3		

病棟数・病床数：3病棟 125床

(内訳) ヨゼフ病棟 46床 (内19床を麦の穂が使用、1床を短期入所で使用)

施設基準：障害者施設等入院基本料 10：1看護

麦の穂A病棟 35床 (内短期入所に2床使用)

施設基準：障害者施設等入院基本料 10：1看護

麦の穂B病棟 44床 (内短期入所に2床使用)

施設基準：療養病棟 20：1看護

2) 防火・避難訓練

*障害児入所・障害児通園事業所で毎月1回の消火、避難訓練の実施

3) 諸会議他

*毎年実施されている日本重症心身障害福祉協会の全国施設協議会及び西日本施設協議会等は感染防止の為、ハイブリッド形式にて実施、それぞれ5名、4名が参加。

4) その他

*実習生受入：理学療法士1名、作業療法士5名、ひばり学園（施設実習）2名、受入実施

*施設見学：櫟において12名受入実施

3. 事業別利用実績等

入所施設利用者数の推移（聖ヨゼフ整肢園・麦の穂学園）

（単位：人）

年度別	聖ヨゼフ整肢園 (肢体児童+一般)	麦の穂学園 (重心児童+療介)	合計延べ人数	1日平均 入所者数
R2年度	973	33,499	34,472	94.4
1日平均入所者	2.7	91.8		
R3年度	928	33,069	33,997	93.1
1日平均入所者	2.5	90.6		
R4年度	571	32,579	33,150	90.8
1日平均入所者	1.6	89.3		

病棟数・病床数：3病棟 125床

(内訳) ヨゼフ病棟 46床 (内19床を麦の穂が使用、1床を短期入所で使用)

施設基準：障害者施設等入院基本料 10：1看護

麦の穂A病棟 35床 (内短期入所に2床使用)

施設基準：障害者施設等入院基本料 10：1看護

麦の穂B病棟 44床 (内短期入所に2床使用)

施設基準：療養病棟 20：1看護

令和年4度の病棟利用状況

*肢体不自由児（ヨゼフ）病床は、令和3年度により、在籍0となっている。コロナ感染予防の為、親子入園等の受け入れを制限したため大きく減少した。

*重症心身障害児者の入所人数は、定員95名に対し、令和4年度平均89.3人。期中3名が亡くなり、新たに2名が新規に入所された。(うち1名が児童)

福祉型児童発達支援センター「ひばり学園」利用者延べ数

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

年度	年間利用者数	一日平均人数	新入園児数	退園児数
令和 2年度	2,088人	9.0人	6人	16人
令和 3年度	1,541人	6.8人	10人	4人
令和 4年度	1,713人	7.3人	11人	5人

年間登園日数：235日 一日定員12名 在園者 名(令和5年4月1日)

*コロナの影響等より、通園児数は減少したまま。

*平行通園者は、25名(80.6%)

*週通園回数：週1回19名、週2回6名、週3回以上6名

生活介護事業「櫟(くぬぎ)」

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

年度	通所予定者延数	実通所者延数	一日平均通所人数	通所率
令和 2年度	2,717人(11.8人/日)	2,347人	10.2人	86%
令和 3年度	2,847人(11.8人/日)	2,339人	10.2人	82%
令和 4年度	2,707人(12.3人/日)	2,282人	10.3人	84%

*年間開所日数：220日 一日定員15名

*送迎・入浴サービスあり 区分6

*利用契約者 35名(全員区分6)

*新型コロナウイルス感染症の影響により2日、休園(10月13日、14日)

「短期入所」利用者延数

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

年度	利用延件数	利用延日数	一日平均人数
令和 2年度	172人	602人	1.6人
令和 3年度	273人	693人	1.9人
令和 4年度	198人	510人	1.4人

短期入所：併設型定員5人

*昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用延日数、一日平均人数が大幅に減少している。